

地域リハビリテーション推進のための関係機関調査(案)について

1. 調査対象

対象機関	調査 予定数	対象選定の理由
市町村	54	保健(保険)・福祉の政策に基づき、健康増進事業をライフステージの中で行う役割を担うため。
地域包括 支援センター	180	今後、2025年に向け、増加する高齢者の相談業務を担い、関係機関を調整する役割を担うため。
診療所 (リハ科)	500	維持期の地域リハビリテーションの拠点となっているため。

2. 調査内容

対象機関	調査項目	課題の活用
市町村 【機能・役割】 「地域リハビリテーション広域支援センターと連携し、地域リハビリテーションに関する情報提供を行う。」 (c.f: 指針 P23) 「千葉県リハビリテーション支援センター、地域リハビリテーション広域支援センター及び地域リハビリテーション関係機関や住民等と連携を図り、地域リハビリテーション機能の一層の充実を図る。」 (c.f: 指針 P23)	【問 1】 リハビリ関係主要事業の市町村担当課の把握 【問 2】 市町村におけるリハビリテーション専門職の配置状況 【問 3】 市町村が把握するリハビリテーション関係機関の種類と担当課	【課題】 ○地域リハビリテーション広域支援センター(以下広域支援センター)調査より、行政の問い合わせ窓口が多岐にわたるため、連絡窓口の把握に困難を要する現状がある。 ○現状では、リハビリテーション事業担当別の窓口リストがない。 【活用】 ○市町村の各事業における連絡窓口やリハビリテーション専門職の課別の配置状況を把握する。
	【問 4】 広域支援センターの認知度及び連携状況 【問 5】 広域支援センターとの今後の連携希望 【問 6】 地域リハビリテーション活動支援事業について	【課題】 ○前回のアンケート調査より、本事業と連携を図るためには、「広域支援センターの機能役割を明確にすることが必要」と回答があった。市町村と広域支援センターの連携強化のためには、連携の現状と課題の把握が必要となる。 【活用】 ○市町村、広域支援センターの機能・役割の見直し材料とする。

対象機関	調査項目	課題の活用
<p>地域包括支援センター</p> <p>【機能・役割】 「介護予防マネジメントの実施に当たっては、関係機関と連携して地域リハビリテーションの状況を把握し、リハビリテーションが切れ目なく提供できるようにする。」 (cf:指針 P24)</p> <p>「千葉県リハビリテーション支援センター、地域リハビリテーション広域支援センター及び地域リハビリテーション関係機関や住民等と連携を図り、地域リハビリテーション機能の一層の充実を図る。」 (cf:指針 P24)</p>	<p>【問 1】 リハビリテーション専門職の配置状況</p> <p>【問 2】 リハビリテーションの相談件数</p> <p>【問 3】 広域支援センターの認知度及び連携状況</p> <p>【問 4】 広域支援センターと協働している事業実施内容</p> <p>【問 5】 広域支援センターとの今後の連携希望</p>	<p>【課題】 ○現状では、地域包括支援センターの相談内容にリハビリテーション関連の相談がどの程度あるのか把握する手段がない。今後、地域包括支援センターへの支援を検討する上で、現状把握が必要である。</p> <p>【活用】 ○地域包括支援センターの連絡先やリハビリテーション専門職の配置状況、相談内容等を把握する。</p> <p>【課題】 ○身体障害者手帳所持者の6割以上が65歳以上の高齢者であり、2025年に向け、介護や疾病予防事業も含め、リハビリテーション提供割合の増加が見込まれている。限られたリハビリテーション資源を効率よく活用するために、広域支援センターとの連携強化が必要となる。</p> <p>【活用】 ○地域包括支援センター、広域支援センターの機能・役割の見直し材料とする。</p>
<p>医療機関（リハ科）</p> <p>【機能・役割】 「維持期においては、地域との切れ目ない連携を図る一方、リハビリ専門職による通所リハビリや訪問リハビリの拠点としても機能する。」 (cf:指針 P22)</p>	<p>【問 1】 診療所の概要</p> <p>【問 2】 高齢者・障害者(児)の受診状況とリハビリ相談件数</p> <p>【問 3】 高齢者・障害者(児)についての相談機関</p>	<p>【課題】 ○維持期の地域リハビリテーションを推進する拠点として、診療所の現状を把握する必要がある。</p> <p>【活用】 ○診療所の概要や受診状況、相談機関等を把握する。 ○リハビリテーション科の連携状況を把握し、リハビリテーション科以外の診療所との連携方法について検討する。</p>

対象機関	調査項目	課題の活用
<p>「かかりつけ医においては、介護保険事業所等を含む地域リハビリテーション関係機関と連携し、在宅療養の継続・充実を図る。」 (cf: 指針 P22)</p>	<p>【問 4】 広域支援センターの認知度及び連携状況</p> <p>【問 5】 広域支援センターとの連携状況</p>	<p>【課題】 ○在宅で増加する維持期のリハビリテーションを支えるためには、診療所と広域支援センターの連携状況について把握が必要となる。</p> <p>【活用】 ○診療所、広域支援センターの機能・役割の見直し材料とする。</p>

地域リハビリテーション推進事業の充実のための課題調査(市町村)

市町村名		担当課	
回答者(職・氏名)		代表電話	

・問1～問3については、市町村の事業担当課及び資源把握状況についてお聞きするものです。

問1 事業担当課について、以下の各事業を所掌する課を御選択ください。
(なお、複数の課にまたがる場合は、主要な課より順に3つまで御選択ください。)

		回答欄		
		担当課 1	担当課 2	担当課 3
記入例	高齢者の健康増進	A 健康増進課	B 高齢者福祉課	
①	高齢者の健康増進			
②	介護予防			
③	地域包括ケアの推進			
④	認知症施策の推進			
⑤	障害者支援			

問2 リハビリ専門職の配置状況についてお答えください。

問2-1 貴市町村に所属するリハビリ専門職の職種別人数を御選択ください。

		回答欄
①	理学療法士 (以下、PT)	
②	作業療法士 (以下、OT)	
③	言語聴覚士 (以下、ST)	

問2-2 問1で選択した課に、リハビリ専門職の配置がある場合、職種別の人数を御選択ください。

		回答欄			
		担当課名 (↓問1で選択した課から選択)		人数	
			PT	OT	ST
記入例	A 健康増進課		1	0	0
・					
・					
・					
・					

問3 次のリハビリ関係資源について、事業所一覧表等として把握していますか。また、どこの課で把握していますか。
(該当する項目全てに○を記入の上、担当課を選択)

		回答欄	
		把握 (↓有の場合○)	担当課名 (↓○の場合、選択)
記入例	訪問介護	○	A 健康増進課
①	訪問介護		
②	訪問入浴		
③	訪問看護		
④	訪問リハビリ		
⑤	通所介護 (デイサービス)		
⑥	通所リハビリ (デイケア)		
⑦	認知症対応型通所介護		
⑧	短期入所生活介護 (ショートステイ)		
⑨	短期入所療養介護 (療養ショートステイ)		
⑩	小規模多機能型居宅介護		
⑪	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)		
⑫	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)		
⑬	介護老人保健施設		
⑭	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		
⑮	住民組織 (町内会名簿等)		

・問4～問5については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と市町村の連携等について、お聞きするものです。

* 本事業の概要については、当課ホームページ(<http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/kenkouken/chiikirihabiri.html>) を御参照ください。

問4	本事業を円滑に推進するため、2次医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。 (該当する項目1つに○を記入)	回答欄	
①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。		→ 問4-2へ
②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。		→ 問4-3へ
③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。		→ 問4-1へ
④	広域支援センターの名前も事業内容も知らない。		

問4-1	広域支援センターで実施している事業例として、次のようなものがあります。これらの事業が広域支援センターで実施されていることを御存知でしたか。(該当する項目全てに○を記入)	回答欄
------	--	-----

①	連絡協議会による地域のリハビリ関係機関の連携	
②	リハビリ専門職による技術的援助（講師派遣等）	
③	リハビリ関係機関の従事者を対象とした研修会の開催	
④	住民を対象とした講演会等の開催	
⑤	地域包括支援センターとの相談体制	

問4-2	問4で①と回答された方にお聞きします。 どのような事業で連携（依頼）したことがありますか。(該当する項目全てに○を記入)	回答欄
------	---	-----

①	連絡協議会による地域のリハビリ関係機関の連携	
②	リハビリ専門職による技術的援助（講師派遣等）	
③	リハビリ関係機関の従事者を対象とした研修会の開催	
④	住民を対象とした講演会等の開催	
⑤	地域包括支援センターとの相談体制	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

問4-3	問4で②と回答された方にお聞きします。 連携を図っていない理由は何ですか。(該当する項目1つに○を記入)	回答欄
------	---	-----

①	広域支援センターの役割がわからない	
②	連携を図る場や仕組みが無い	
③	連携を図る必要性を感じない	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問5	今後、広域支援センターとどの程度連携を図りたいと考えていますか。(該当する項目1つに○を記入)	回答欄
----	---	-----

①	連携した事業の実施		→ 問5-1へ
②	必要時に連携を図ることができるよう、顔の見える関係の構築		
③	今のところ連携を図る必要性は感じていない		
④	その他（↓具体的にご記入ください）		

問5-1	問5で①、②と回答された方にお聞きします。 今後（将来的に）、広域支援センターのどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。 (該当する項目全てに○を記入)	回答欄
------	---	-----

①	連絡協議会による地域のリハビリ関係機関の連携	
②	リハビリ専門職による技術的援助（講師派遣等）	
③	リハビリ関係機関の従事者を対象とした研修会の開催	
④	住民を対象とした講演会等の開催	
⑤	地域包括支援センターとの相談体制の構築	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

・問6については、地域支援事業の新しい介護予防事業の1メニューとして国から提示された「地域リハビリテーション活動支援事業」についてお聞きするものです。

問6 貴市町村では、「地域リハビリテーション活動支援事業」を実施する予定はありますか。
(該当する項目1つに○を記入)

		回答欄
①	平成27年度から実施予定	→ 問6-1へ
②	平成28年度からの事業開始に向けて現在検討中	
③	現時点では、具体的な予定はない	→ 問6-2へ
④	その他(↓具体的にご記入ください)	

問6-1 問6で①～②と回答された方にお聞きします。
どのような項目を実施予定ですか。また、担当課が決まっている場合には御記入ください。
(該当する項目全てに○を記入の上、担当課を選択)

		回答欄	
		実施予定 (↓有の場合○)	担当課名 (↓○の場合、選択)
記入例	地域ケア会議等へのリハビリ専門職の定期的関与	○	A 健康増進課
①	地域ケア会議等へのリハビリ専門職の定期的関与		
②	住民運営の通いの場へのリハビリ専門職の定期的関与		
③	通所及び訪問サービス事業所へのリハビリ専門職の定期的関与		
④	その他(↓具体的にご記入ください)		

問6-2 問6で③と回答された方にお聞きします。
その理由を御記入ください。(該当する項目1つに○を記入)

		回答欄
①	関係部署・住民等からのニーズが無い	
②	庁内の担当課調整が困難	
③	事業内容が不明確	
④	リハビリ専門職の確保が困難	
⑤	その他(↓具体的にご記入ください)	

・本事業に対するご意見・ご要望等があれば御記入ください。

自由記載

お忙しい中、回答に御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進事業の充実のための課題調査(地域包括支援センター)

センター名称		市町村名	
種類	(直営 ・ 委託)	回答者(職・氏名)	
電話番号		E-mail	

・問1～問2については、貴センターの職員配置状況及び相談業務についてお聞きするものです。

問1 貴センターにリハビリ専門職の配置はありますか。配置がある場合、職種別人数を御記入ください。

		回答欄 (↓人数を記入)
①	理学療法士(以下、PT)	人
②	作業療法士(以下、OT)	人
③	言語聴覚士(以下、ST)	人

問2 貴センターには、平均して月に何件の相談が寄せられますか。またその中で、リハビリに関する相談及び虚弱老人の健康相談は何件くらい含まれていますか。(該当する項目それぞれ1つに〇を記入)

※相談の例
 ・リハビリに関する相談：どこでリハビリを受けられますか、福祉用具の選び方が分からない等
 ・虚弱老人の健康相談：退院してから体調がすぐれない、家族が閉じこもりになってしまった、脱水等

		回答欄		
		総件数	リハビリに関する相談	虚弱老人の健康相談
①	0件			
②	1～10件			
③	11～50件			
④	51～100件			
⑤	100～300件			
⑥	300件以上			

・問3～問5については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴センターの連携等について、お聞きするものです。*本事業については、「千葉県地域リハビリテーション連携指針(改定版)概要」を御参照ください。

問3 本事業を円滑に推進するため、2次医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター(以下、広域支援センター)」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。(該当する項目1つに〇を記入)

		回答欄
①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。	→ 問3-1へ
②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。	→ 問3-2へ
③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。	
④	広域支援センターの名前も事業内容も知らない。	

問3-1 問3で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携(依頼)したことがありますか。(該当する項目全てに〇を記入)

		回答欄
①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加	
②	研修会への講師派遣を依頼	
③	住民を対象とした講習会等の開催	
④	その他(↓具体的にご記入ください)	

問3-2 質問3で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。(該当する項目1つに〇を記入)

		回答欄
①	広域支援センターの役割がわからない。	
②	連携を図る場や仕組みが無い。	
③	連携を図る必要性を感じない。	
④	その他(↓具体的にご記入ください)	

問 4	本事業では、地域包括支援センターへの支援として、メールフォームを活用したリハビリ専門職による相談対応や困難事例に対する同行訪問を実施しています。現在一部の広域支援センターで開始しており、順次全県への普及を検討しております。この事業を御存知でしたか。（該当する項目1つに○を記入）
------------	---

		回答欄
①	相談体制について知っており、活用したことがある。	
②	相談体制については知っていたが、活用したことはない。	
③	相談体制については知らなかったが、今後活用してみたい。	
④	相談体制については知らなかったが、今のところ必要性を感じない。	
④	その他（↓具体的にご記入ください）	

問5	今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。（該当する項目1つに○を記入）
-----------	--

		回答欄
①	リハビリに関する相談体制の活用	
②	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加	
③	研修会への講師派遣	
④	住民を対象とした講習会等の開催	
⑤	今のところ連携を図る必要性は感じていない	
⑥	その他（↓具体的にご記入ください）	

・本事業に対するご意見・ご要望等があればご記入ください。

自由記載

お忙しい中、回答に御協力いただき、ありがとうございました。

地域リハビリテーション推進事業の充実のための課題調査(診療所)

診療所名		住所	
回答者		電話番号	

問1 診療所の概況についてお知らせください。(複数回答可)

1 診療科目(該当項目全てに〇)

回答欄	NO	診療科目	〇
	1	アレルギー科	
	2	胃腸科	
	3	外科	
	4	呼吸器内科	
	5	循環器内科	
	6	小児科	
	7	整形外科	
	8	内科	
	9	皮膚科	
	10	リウマチ科	
	11	その他(具体的に記入)	

2 従事者数

回答欄	NO	職種	人数
	1	医師	
	2	薬剤師	
	3	看護師	
	4	理学療法士	
	5	作業療法士	
	6	言語聴覚士	
	7	放射線技師	
	8	看護助手	
	9	ケアマネジャー	
	10	MSW	
	11	事務	
12	その他		

3 併設施設(該当項目全てに〇)

回答欄	NO	併設施設	〇
	0	なし	
	1	訪問看護ステーション	
	2	リハビリステーション	
	3	居宅介護支援事業所	
	4	老人保健施設	
	5	通所介護	
	6	通所リハビリテーション	
	7	地域包括支援センター	
	8	在宅介護支援センター	
	9	有料老人ホーム	
	10	グループホーム	
11	その他		

問2 高齢者、障害者(児)の受診状況、リハビリ相談件数についてあてはまる箇所に〇をつけてください。

回答欄			高齢者	障害者(児)	リハ相談		
			①	0件			
			②	1~10件			
			③	11~50件			
			④	51~100件			
			⑤	100~300件			
			⑥	300件以上			

※受診者数は、10月1カ月間の延べ人数

問3 高齢者、障害者(児)のリハビリについて相談をする機関に〇をお願いします。(複数回答可)

回答欄			障害者(児)	高齢者		
			①	市町村		
			②	地域包括支援センター		
			③	居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)		
			④	発達支援センター		
			⑤	病院(リハビリテーション専門医)		
			⑥	地域リハビリテーション広域支援センター		
			⑦	歯科診療所		
⑧	その他					

・問4~問5については、県が実施している「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と貴院の連携等について、お聞きするものです。

*地域リハビリテーション推進事業の概要については、別紙を参考にしてください。

問4 本事業を円滑に推進するため、2次医療圏に1ヶ所の「地域リハビリテーション広域支援センター(以下、広域支援センター)」を設置しています。この広域支援センターとの現在の関係についてお聞きします。

回答欄											
						①	広域支援センターを知っている。かつ、連携を図っている。				→ 問4-1へ
						②	広域支援センターを知っている。しかし、連携を図っていない。				→ 問4-2へ
						③	広域支援センターの名前は聞いたことがある。				※該当する項目1つに〇を記入
④	広域支援センターの名前も事業内容も知らない。										

問4-1 問4で①と回答された方にお聞きします。どのような事業で連携(依頼)したことがありますか。

回答欄									
					①	広域支援センターの開催する連絡協議会に参加			※該当する項目全てに〇を記入
					②	研修会への講師派遣を依頼			
					③	住民を対象とした講習会等の開催			
④	その他(具体的に記入:)								

問4-2 質問4で②と回答された方にお聞きします。連携を図っていない理由は何ですか。

回答欄									
					①	広域支援センターの役割がわからない。			※該当する項目1つに〇を記入
					②	連携を図る場や仕組みが無い。			
					③	連携を図る必要性を感じない。			
④	その他(具体的に記入:)								

問5 今後、広域支援センターとどのような事業について連携を図りたいと考えていますか。

回答欄									
					①	リハビリに関する相談体制の活用			※該当する項目1つに〇を記入
					②	地域のリハビリ関係機関が一堂に会する連絡協議会に参加			
					③	研修会への講師派遣			
					④	住民を対象とした講習会等の開催			
					⑤	今のところ連携を図る必要性は感じていない			
⑥	その他(具体的に記入:)								

FAX 番号：043-225-0322

千葉県健康づくり支援課 地域リハビリ班

締切：平成26年12月25日（木）

所属

氏名

電話番号

地域リハビリテーション事業調査についての意見票

対象機関	内容	項目	質問項目	御意見(追加・削除等)
市 町 村	資源把握状況の確認	【問1】	リハビリ関係主要事業の市町村担当課の把握	
		【問2】	リハビリ専門職の配置状況	
		【問3】	リハビリ関係資源状況を把握している部署	
	との連携 支援センター	【問4】	広域支援センターとの現在の関係	
		【問5】	広域支援センターとの今後の連携希望	
	市事業	【問6】	地域リハビリテーション活動支援事業の実施	
地域包括支援センター	センター概況	【問1】	センター内のリハビリ職配置の有無	
		【問2】	センターで受けるリハビリテーションの相談	
	との連携 支援センター	【問3】	広域支援センターの認知度と協働の内容	
		【問4】	広域支援センターへの相談	
		【問5】	広域支援センターへ希望する事業内容	
診療所	現況	【問1】	診療所の概況	
		【問2】	高齢者、障害者(児)の受診状況	
		【問3】	高齢者、障害者(児)の相談機関	
	との連携 支援センター	【問4】	広域支援センターの認知度	
		【問5】	広域支援センターとの今後の連携希望	
その他				